

平成 29 年度真和志高等学校 国語「古典A」 シラバス

講座名	古典A	学年	第3学年
単位数	2単位	留意点	卒業後の進路として文系学部への進学を考えている場合は、選択することが望ましい。
選択・必修	選択履修		
教科書	古典文学選 古典A（教育出版）		
副教材等	古典文学選 学習課題ノート（教育出版） ○国語便覧・古語辞典・漢和辞典		

◎科目の目標

<p>古典としての古文と漢文，古典に関連する文章を読むことによって，わが国の伝統と文化に対する理解を深め，生涯にわたって古典に親しむ態度を育てる。</p>
---

◎授業計画

		単元・教材名	学習内容	留意点
前期	4	一 歌物語 伊勢物語 初冠・月やあらぬ・筒井筒・目離れせぬ雪・つひにゆく 大和物語 姨捨山・安積山・後に会はむと	○『伊勢物語』と『大和物語』を読み，話の展開をたどりながら，和歌にこめられた登場人物の心情を読み取り，鑑賞することで，歌物語の世界にふれる。	
	5	二 和歌 和歌の諸相	○ 日本文芸の中核をなす和歌の作品群にふれ，短詩形の中に詠まれた情景や心情を読み取り，鑑賞するとともに，コミュニケーションツールとしての和歌の姿をとらえ，伝え合う力について考える。	
	6	三 軍記物語 平家物語 忠度都落ち・先帝入水・能登殿最期 面影ばかり（建礼門院右京大夫集）	○『平家物語』を読み，登場人物の行動とその背景にある心情を読み取り，武士の生き方について考える。 ○『建礼門院右京大夫集』を読み，和歌にこめられた心情を考えるとともに，平家物語の読解を深める。	
	7	四 随筆（一） 方丈記 行く川の流れ・養和の飢饉・日野山の閑居	○『方丈記』を読み，人間・社会・自然などについて，現代日本の状況と関連させながら考察することで，人間の生き方や無常観に関する理解を深める。	

	9	五 歴史物語 大鏡 道真左遷・三船の才・中宮安子の嫉妬・兼通と兼家の確執・若き日の道長・道長と隆家・鶯宿梅	○『大鏡』を読み、描かれたエピソードや、登場人物のさまざまな人間像を読み取り、ものの見方・感じ方・考え方について理解を深めるとともに、そのエピソードや人物について語る語り手のスタンスを正しく捉えて鑑賞する。	
後 期	10	六 随筆（二） 枕草子 二月つごもり頃に・殿などのおはしまさで後・中納言参り給ひて・この草子、目に見え、心に思ふことを	○『枕草子』を読み、作者清少納言が描いた宮廷社会の伝統と文化について読み味わい、理解を深める。	
	11	七 源氏物語 光源氏と紫の上 光源氏の誕生・若紫との出会い・二条院に引き取られた若紫・光源氏、須磨への退去・紫の上の嫉妬・養母紫の上・六条院の女君・紫の上の死・追憶の日々	○『源氏物語』を読み、主人公光源氏の人生を、最愛の伴侶紫の上との関わりの面から読み味わうとともに、日本文学の最高傑作とも評される『源氏物語』の作品世界にふれ、古典に親しむ態度を養う。	
	12	八 評論 清少納言・紫式部（無名草子）／関路の落葉・静縁のこけ歌のこと（無名抄）／もののあはれ（源氏物語玉の小櫛）	○さまざまな評論を読み、古典文学の根底にある発想を知ることによって、わが国の伝統と文化について理解を深める。	
	1	一 逸話 季札挂劍・晏子使楚・先従隗始・俛出袴下	○比較的短い四つの逸話作品の読解を通して、漢文への興味・関心を深める。	
	2	二 史記 史記 鴻門の会・四面楚歌・項王の最期 詩 題烏江亭（杜牧）	○史記を読解しながら、項羽と劉邦を中心とした多彩な登場人物の描写を味わうとともに、作者司馬遷の人間に対する観察眼、洞察力にふれる。	
	3	四 三国志 関羽と張飛・諸葛孔明・赤壁の戦い 詩 蜀相（杜甫）・星落秋風五丈原（土井晩翠）	○『三国志』の英雄にまつわる話を読み、登場人物の人物像や性格を読み取るとともに、その英雄たちが織りなす世界のおもしろさにふれる。	

## ◎評価の方法

- ・授業では、毎回小テストを実施する予定である。
- ・小テストは、重要語句・語法に関するものを毎時間実施し、小テストの得点は定期考査の結果に加算する。
- ・夏休み中に、学習が遅れぎみな者に対する指名補習と、進学を希望する者を対象とした実力アップ補習（希望者）を実施する予定である。
- ・評価は、定期考査や小テスト（知識・理解）を中心に、出席状況や授業への取り組み状況（関心・意欲・態度）、発言や提言（思考・判断）などを総合的に判断して行う。
- ・定期考査は、前・後期とも中間考査と期末考査をそれぞれ百点満点で行う。
- ・グループ学習による発表学習については、担当教員の評価の他、生徒相互による評価も行い、担当教員が実際の評価を決める際の資料として活用する。
- ・各学習のまとめ段階では、自己評価や相互評価も活用する予定である。
- ・なお、年間授業時間数の1/3以上を欠席すると、単位を認定しないので注意すること。